

人々の工夫や努力の意味について考え、表現できる児童の育成

—社会的事象を比較・関連付けるための「くらべるシート」を活用して—

特別研修員 社会科 東瀬貴美 (小学校教諭)

児童の実態

- 比較・関連付けて考えることが苦手
- 資料を根拠に考え、表現することが苦手

教師の願い

- 比較・関連付けて考える力を高めたい。
- 資料を根拠に考え、表現するための手立てが必要。

授業実践 単元「自動車をつくる工業」

手立て① 比較・関連付ける活動

くらべたい事象について記入し、図式化する。

くらべるシート

① 指示書を使っている。	つながりを矢印で表す。	使うガソリンの量が少ない	(ア)
② 1500~2000の検査(人の手で)		かっこいい	(イ)
③ 現地生産		乗りごち	(ウ)
④ 地球環境にやさしい自動車の開発		安心して乗れる	(エ)

人々の工夫や努力 ← くらべる視点 → 消費者のニーズ

「くらべるシート」を見てみよう！
キーワードは、(ア)「環境」(イ)「安全」
などだね。

検査を人の手でやれば、細かくチェックできるので事故につながらないから、
キーワードは安全だね。

手立て② 自分の立場から考える活動

定型文の活用

①キーワードを使って

ために、くふうや努力をしている。そのおかげで、

②自分の生活との関わりについて

「そのおかげで」という言葉を使い、人々の工夫や努力と自分の生活との関わりを考える。

児童のまとめ

かん境のためにくふうや努力をしている。そのおかげで、ガソリンがなくなったりする問題が解消する。

安全のために、くふうや努力をしている。そのおかげで、事故がない生活がおくれている。

人々の工夫や努力の意味を考え、表現できる児童

- 成果**
- 「くらべるシート」は、資料から読み取ったことを視覚的に捉えやすく、思考を整理しやすいため、比較・関連付けて考えることができた。
 - つながりを表したキーワードを定型文に当てはめることによって、人々の工夫や努力の意味について考え、自分の言葉で表現することができた。

- 課題**
- ▲「くらべるシート」は、学習内容や展開によって、形式や活用の仕方を検討していく必要がある。(書く項目の精選、修正・検討するための話し合い活動など)
 - ▲くらべる対象をより明確化していくことによって、「くらべるシート」をより活用しやすくなると考える。